

飯館村 第7次総合振興計画

うる きよ
美わしく 清らかな村へいたて



令和7年12月
飯館村

飯館村民歌

夢大らかに

作詞 小林金次郎
作曲 石河 清

一 山 美わしく

水 清らかな

その名も 飯館 みどりの林に 小鳥は歌い

うらら 春陽に さわらび もえる

ああ われら 今こそ手と手

固く つなぎて 村を興さん

村を興さん

二 土 よく肥えて

人 情ある

その名も 飯館

わがふるさとよ

実りの稻田に 陽は照りはえて

続く 阿武隈

山幸歌舞

ああ われら 夢大らかに

ともに 励みて 村を富まさん

村を富まさん

ごあいさつ

村民の皆様には日頃より村政に対する特段のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、東日本大震災からこれまでの長きに亘り、村内外の多くの皆様からの励ましにより支えられ、温かくお見守りいただきましたこと、この場をお借りして、あらためて、心よりの感謝と御礼を申し上げます。

私たち飯館村民は、東日本大震災以前より、先祖伝来の土地で四季折々の自然と共に存し、20行政区によるコミュニティや人と人との繋がりを重んじながら、穏やかな暮らしを営んでまいりました。

あの震災を乗り越え、村民お一人おひとりが未来への希望を胸に、次世代へとふるさとを繋ぐべく、日々たゆまぬ努力を続けております。

今般策定しました「第7次総合振興計画」は、この飯館村民の理念を具体化し、ふるさと飯館村の未来を計画的に描くための羅針盤となります。

「^{うる}美わしく ^{きよ}清らかな村 ^{いいたて}」は、村民の皆様にとって馴染み深いフレーズなのではないかと存じます。飯館村民歌は、村が合併して10年が経過した昭和41年に作られた歌です。村民歌の歌詞「^{うる}山美わしく ^{きよ}水清らかな」にもあるように、その情景はまさに村の懐かしい原風景そのものであり、村政70周年の節目にあたり、改めてその原点に立ち返り、あの時のように一致団結しながら、村を興し、村を富ましていくという温故知新の熱い想いが込められています。

策定に際し、連携協定を締結している大学の皆様、専門部会や委員の皆様にご協力を仰ぎ、また村民アンケートの実施を通じて、村民の皆様の生の声を取り入れていく形で進めさせていただきました。

これにより、村民の「今を支え」、「将来への布石」足り得る計画を体系的にお示しし、震災の経験を含む村の歴史や文化の継承、さらには地域活動を基盤とする持続可能な村づくりを目指す内容を盛り込みました。

結びに、この策定にあたり、ご意見・ご提案を賜りました全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

本計画を礎とし、私自身も多くの皆様と手と手を取り合って、共に「明日が待ち遠しくなるような、ワクワクする楽しいふるさと」に向けた歩みを着実に進めてまいりたく存じます。どうぞ引き続き一層のご支援・ご協力を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

飯館村長 杉岡 誠

